

工事名：

発電所工事

様式：太陽光発電V007

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チエック
1	企画段階		
2	・安全性・経済性・維持管理等を重点に審査します。		<input type="checkbox"/>
3			
4	・市町村の規制がありますが確認済みですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
5			
6	・設置にあたっては、地域の風土、地形、過去の自然災害等を調査済みですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
7	・市町村災害担当窓口にご相談済みですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
8			
9	・地上設置型は、発電所内へ人の立入りを制限することが必要とされる場合、柵やフェンス等の設置を計画有りますか。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
10			
11	・農地面積(水田9,705㎡)の場合には市町村と協議済みですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
12			
13	・地上設置型の場合、隣地との境界を明示杭等で確認済みですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
14			
15	・固定価格買取期間(20年)の保証・メンテナンス体制を確認済みですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
16			
17	・発電所で災害が発生した場合に備え、緊急連絡先を看板等で表示が有りますか。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
18			
19	施工業者の選定		
20			
21	・発注金額が500万円以上の場合、施工を請け負う業者が「建設業」の許可を受けているか、「電気工事業」の登録、届	(済・無)	<input type="checkbox"/>
22	出を行っているか。		
23			
24	・発注総額が500万円以上の場合、分割発注で1件当たり500万円以下にしても正当な理由のない限り「みなし規定」に	(済・無)	<input type="checkbox"/>
25	より、発注金額は500万円以上と認定され、「建設業」の許可等が必要になります。		
26			
27	・施工現場の労働者数が10人以上49人未満の場合でも、同50人以上に準じる安全管理体制を取ることが「中規模建	(済・無)	<input type="checkbox"/>
28	設工事現場における安全衛生管理の充実について」(基発第209号の2)で要請されている。		
29	・施工現場の労働者数が1～9人以下でも、上記規定に基づくことが好ましいと労働基準監督署から要請されている。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
30			
31			
32	・労働災害事故が発生し安全管理体制に不備があった場合、事業者は民事、刑事、行政責任が発生する。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
33			
34	・建設業法によって、見積書、発注書、契約書等が必要です。下請代金遅延防止法等と同様の規制があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
35			
36	・「建設業法遵守チェックリスト」を確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
37			
38	・適切な基礎を設計するために必要な、地盤状況の事前調査を実施していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
39			
40	・事前調査の結果に応じて、スウェーデン式サウンディング(SWS)試験、または、平板載荷試験相当以上の地盤調査を	(済・無)	<input type="checkbox"/>
41	専門家に依頼しましたか。		
42			
43	・事前調査や地盤調査で得られた結果を基に、地盤の不同沈下、許容支持力を求め、地盤の安全性を確認しました	(済・無)	<input type="checkbox"/>
44	か。		<input type="checkbox"/>
45			
46	・基礎形式を適切に定めていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
47			
48	・杭基礎の場合、鉛直支持力、水平抵抗力を検討済みですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
49			
50	・発電所で災害が発生した場合に備え、緊急連絡先を看板等で表示されることをお勧めしますので、企画段階で検討	(済・無)	<input type="checkbox"/>
51	済みですか。		

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チエツ ク
53	・ 軟弱地盤や盛土地盤、支持層に達しない摩擦杭や短杭の場合には特に配慮が有りますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
54			
57	・ 杭の各支持力は「建築基礎構造設計指針」または、国土交通省告示第1113号に示された計算方法に基づき設計済みですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
58			
59			
60			
61	・ 直接基礎及び置き基礎の場合、凍結深度より深い位置に底板位置を定めていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
62			
63	・ 杭基礎の場合、凍上の発生に対して配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
64			
65	・ 基礎の沈下・不同沈下量を支障のない範囲内と確認していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
66			
67	・ 基礎の沈下が架台に及ぼす影響に配慮し設計していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
68			
69	・ 地上設置型は基礎の設計に、固定荷重、水圧、土圧、地震荷重、地盤の変状に伴う荷重を想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
70			
71			
72	・ 固定荷重は上部構造に加え、基礎スラブ上を覆う土の荷重も想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
73			
74	・ 水圧は地下水位を把握し、最高水位から想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
75	・ 浮力を考慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
76			
77	・ 地震荷重を基礎に働く水平力として取り扱っていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
78			
79	・ 設計震度やせん断係数によってそれを適切に評価していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
80			
81	・ 地盤の変状に伴う杭の負の摩擦力や不同沈下の影響も考慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
82			
83	・ 積載荷重と積雪、強風、地震による各荷重との組合せにも配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
84			
85	・ アンカーボルトの材質、「各種合成構造設計指針・同解説」に基づいていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
86			
87	・ 施工アンカーは、一般社団法人日本建築あと施工アンカー協会の認定品を有資格者が施工することをお勧めしま	(済・無)	<input type="checkbox"/>
88	す。(施工は無し)		<input type="checkbox"/>
89			
90	・ 基礎部分は、原則メンテナンスできないとの前提で20年以上の耐久性を確保していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
91			
92	・ 基礎部分は、地盤・地質・地下水の水素イオン濃度指数(pH)や迷走電流等による腐食に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
93			
94			
95			
96			
97	・ 高さ4m以下の太陽電池アレイを支持する構造物の設計はJIS C 8955を配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
98			
99	・ 架台の構造は、鋼材の場合は「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—」等に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
100			
101	・ アルミ合金の場合は「アルミニウム建築構造設計規準」等に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
102			
103	・ 架台材料に鋼板を用いる場合、厚さが2.3mm未満なら、部材の安全性に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
104			
105			
106	・ 架台には、固定荷重、風圧荷重、積雪荷重、地震荷重を想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チエッ ク
107	共通事項確認		
108			
109	・工事契約金：工事金額＋（消費税相当額）の合計金額。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
110			
111	・工事契約書：（契約書＋見積書＋計画図面 1 式＋特記仕様書）添付か。	（有・無）	<input type="checkbox"/>
112			
113	・着手・の時期（工程表）が添付か。	（有・無）	<input type="checkbox"/>
114			
115	・見積書：見積(製品)によるカタログの添付か。	（有・無）	<input type="checkbox"/>
116			
117	・前金払・出来型部分払の時期・方法は施主様と協議済みか。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
118			
119	・計変更等による工事代金の変更額は協議によるか。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
120			
121	・契約後資材等の大幅な変動における契約は協議による。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
122			
123	・完成検査・引渡しに関する時期・方法確認。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
124			
125	・建設工期の履行は試験運転含む平成28年 3 月31日とする。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
126			
127	・四国電力打合せ平成28年 3 月31までに通電可能とする。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
128			
129	・建設中の建物に保険(火災・損保)を工事契約者が加入か。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
130			
131	・パワコンSMA社SC500CP-J確認。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
132			
133	・設備規模：927.5kwの発電規模。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
134			
135	・年間発電量計画：1,023,177kwh（一般世帯約300世帯に相当）を確認。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
136			
137	・全量買取単価：36円/kwh(税抜)再度確認。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
138			
139	・初期投資額：2億7550万円(税抜)確認。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
140			
141	・0%自己資金(借入)を確認。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
142			
143	・100%即時償却を使用（グリーン投資減税）対象か。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
144			
145	・年間メンテナンス費用別紙にて検討済みですか。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
146			
147	・太陽光発電モジュール出力保証各メーカーの比較が有るか。	（有・無）	<input type="checkbox"/>
148			
149	・上記でシュミレーションした場合、20年で得る利益は7億4198万円になります。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
150			
151	・初期費用の2億7550万円(税抜)を差し引くと20年間で2億3007万円もの利益となります。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
152			
153	・複数の販売店から見積書（シュミレーション）が有るか。	（有・無）	<input type="checkbox"/>
154			
155			
156	・JIS C 8955では算出方法を定めていますが、雪の溜り方向、風下の雪だまり、側圧等に配慮が有るか。	（済・無）	<input type="checkbox"/>
157			
158			
159	・太陽光発電下で安全に農作業が出来るか。	（出・無）	<input type="checkbox"/>

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チエック
160			
161	・ 地震荷重は支持物に加わる水平地震力として、JIS C 8955で示す算出方法で想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
162			
163	・ 地域や条件で、JIS C 8955で示すように各荷重を適切に組合せる必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
164			
165	・ 架台には、20年間の使用を想定した耐久性が求められます。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
166			
167			
168	・ 溶融亜鉛めっき、または、それと同等以上のめっきや塗装で防食措置を施していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
169			
170	・ 海岸線に近い場所や煙霧の発生しやすい場所等では耐食性が低下する場合があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
171			
172	・ 環境に応じた対策を措置を施していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
173			
174	・ 異種金属接触が生じる場合、設置状況や使用状況に応じて対策が有りますか。(異種金属無し)	(済・無)	<input type="checkbox"/>
175			
176	・ 塗装等によるメンテナンスが必要な場合、推定メンテナンス期間を提示する。(塗装等無し)	(済・無)	<input type="checkbox"/>
177			
178	施工段階		
179			
180	・ 「B工事安全衛生点検チェックシート」、「施工現場のためのチェックシート」に基づき施工現場の法令遵守と安全を 確	(済・無)	<input type="checkbox"/>
181	認。		
182			
183			
184	・ 点検に当たっては、JPEA作成の「太陽光発電システム保守点検ガイドライン【10kW 以上の一般用電気工作物】」を	(済・無)	<input type="checkbox"/>
185	確認済み。		
186			
187	・ 基礎に著しいひずみ、損傷、ひび等破損の進行がないか確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
188			
189	・ 地上設置の場合は、雑草、水溜り、土砂の流入や流出がないかを確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
190			
191			
192	・ 凍結深度の影響、積雪による沈降、不等沈降、地際腐食、架台多連結による膨張変形の有無等を確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
193			
194			
195	・ 地盤沈下による架台の変形や、擁壁、柵、フェンス等の損傷がないかを確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
196			
197	・ 架台の変形、キズ、汚れ、さび、腐食、破損、屋上・屋根との接合部のさび、変形、脱落がないかを確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
198			
199	・ 塗装等場合には、さび、腐食、破損に特に注意する必要があります。(塗装等無し)	(済・無)	<input type="checkbox"/>
200			
201	・ ボルトの緩み、基礎アンカーボルトの緩みがないかを確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
202			
203	・ 台風・洪水・地震・積雪・雹（ひょう）・雷等が発生した時は、架台や基礎の変形、重要機器の水没や感		
204	電の恐れ等がないかを確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
205			
206	・ 車両による侵入等によって機器、架台、基礎等が損傷を受けていないか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
207			
208	・ 緊急時の連絡体制（保全関係者への連絡を含む）が整備されているか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
209			
210	・ 事故や侵入等によって機器、架台、基礎等が損傷を受けていないか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
211			
212	・ 緊急時の連絡体制(保全関係者への連絡を含む)が整備され、利用可能になっているか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チェ ック
213	事業者		
214			
215	・ 設置にあたっては、地域の風土、地形、過去の自然災害等を確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
216			
217	・ 過去の災害について都府県市町村災害担当者に協議済みか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
218			
219	・ 地上設置型は、発電所内へ一般者の立入りを制限した、フェンス等の設置する。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
220			
221			
222	・ 建設業法によって、見積書、発注図面、契約書等有りますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
223			
224	・ 下請代金遅延防止法等と同様の規制があります。下請に出しますか。	(出・無)	<input type="checkbox"/>
225			
226	建築条件		
227			
228	太陽光発電は、地上設置か。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
229			
230	・トラッキングシステム(太陽光追尾型発電システム)か。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
231			
232	・高知県高岡郡四万十町影野。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
233			
234	・設置場所：広い敷地、傾斜地など。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
235			
236	・材質：主に亜鉛メッキQ235で、ボルトなどはSUS304である。(13/26ページ参照)確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
237			
238	・日本興業規格2種55(HDZ55)か。		
239	(表面処理：Q235は亜鉛メッキ処理、亜鉛メッキ平均厚さ>80um)確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
240			
241	・設計標準：JIS C8955:2011確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
242	(太陽電池アレイ用支持物設計標準)		
243			
244	・太陽電池アレイ 50m×150(柱間)傾斜設置角度10°	(済・無)	<input type="checkbox"/>
245			
246	・基準構造：杭基礎 S造	(済・無)	<input type="checkbox"/>
247			
248	・積載機器：太陽電池モジュール W=18.5kg/枚	(済・無)	<input type="checkbox"/>
249			
250	・地番粘性土層：(N値)5.00	(済・無)	<input type="checkbox"/>
251			
252	・最大風速：37m/sで設計か。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
253			
254	・積雪荷重：20N/m ² 計上か。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
255			
256	・パネル設置方向：縦置きか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
257			
258	・接続箱：16面か。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
259			
260	・気象信号変換器も計測可能か。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
261			
262	・気温計・日射計も計測可能か。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
263			
264	・キュービクル設置基礎図面有るか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チェ ック
265	基礎の設計		
266			
267	・ 適切な基礎を設計するために必要な地盤状況の事前調査を実施していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
268			
269	・ 事前調査の結果に応じて、スウェーデン式サウンディング(SWS)試験、または、平板載荷試験相当以上の地盤調査を	(済・無)	<input type="checkbox"/>
270	専門家に 依頼した報告書の確認。		
271	・ 事前調査や地盤調査で得られた結果を基に、地盤の不同沈下、許容支持力を求め、地盤の安全性を評価しています	(済・無)	<input type="checkbox"/>
272	か。		
273	・ 基礎杭形式ですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
274	・ 置き基礎の場合、基礎の滑りや根入れの要否を検討していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
275			
276	・ 杭基礎の場合、引抜抵抗力を検討していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
277	・ 軟弱地盤や盛土地盤、支持層に達しない摩擦杭や短杭の場合には特に配慮が有りますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
278			
279	・ 杭の各支持力は「建築基礎構造設計指針」、または、国土交通省告示第1113号に示された計算方法に基づき設計に	(済・無)	<input type="checkbox"/>
280	配慮が有りますか。		
281	・ 直接基礎及び置き基礎の場合、凍結深度より深い位置に底板位置を定めていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
282			
283	・ 杭基礎の場合、凍上の発生に対して配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
284			
285	・ 基礎の沈下・不同沈下量を支障のない範囲内と確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
286			
287	・ 地上設置型は基礎の設計に、固定荷重、水圧、土圧、地震荷重、地盤の変状に伴う荷重を想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
288			
289	・ 固定荷重は、上部構造に加え基礎スラブ上を覆う土の荷重も想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
290	・ 水圧は地下水位を把握し、最高水位から想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
291	・ 浮力を考慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
292	・ 地震荷重を基礎に働く水平力として取り扱っていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
293			
294	・ 設計震度やせん断係数によって、それを適切に評価していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
295			
296	・ 地盤の変状に伴う杭の負の摩擦力や不同沈下の影響も考慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
297			
298	・ 積載荷重と積雪、強風、地震による各荷重との組合せにも配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
299			
300	・ 基礎部分は原則メンテナンスできないとの前提で、20年以上の耐久性を確保していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
301			
302	・ 設計基準風速(V0) : 38m/s(窪川)設計か	(済・無)	<input type="checkbox"/>
303			
304	・ 雪の平均単位荷重は : 20N/㎡か	(済・無)	<input type="checkbox"/>
305			
306			
307	・ 基礎部分は、地盤・土質・地下水の水素イオン濃度指数(pH)や迷走電流等による腐食に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
308			
309			
310	・ 鋼管杭を用いる場合、地盤部での腐食を考慮し、それを防ぐ措置を取っていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
311			
312	・ 基礎の洗掘が発生しないように、また、近隣や水系に十分配慮した上で排水計画を立てていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
313			
314	架台の設計		
315			
316	・ 架台の構造は、鋼材の場合は「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—(日本建築学会)」等に準じて配慮しています	(済・無)	<input type="checkbox"/>
317	か。		

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チエック
318	・ 高さ4m以下の太陽電池アレイを支持する構造物の設計ではJIS C 8955を配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
319			
320	・ アルミ合金の場合は「アルミニウム建築構造設計規準(建築研究所)」等に準じて配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
321			
322	・ 架台材料に鋼板を用いる場合、厚さが2.3mm未満なら部材の安全性を配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
323			
324			
325	・ 架台には、固定荷重、風圧荷重、積雪荷重、地震荷重を想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
326			
327	・ 固定荷重は、太陽電池モジュールや支持物の重量の合計として想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
328			
329	・ 風圧荷重は、太陽電池モジュールや支持物に加わる風圧力の合計として想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
330			
331	・ 積雪荷重は、太陽電池モジュール面の垂直積雪荷重として想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
332			
333	・ JIS C 8955は算出方法を定めていますが、雪の滑り方向、風下の雪だまり、側圧等に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
334			
335			
336	・ 建築基準法施工(19条の2)の垂直積雪深に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
337			
338	・ 地震荷重は、支持物に加わる水平地震力としてJIS C 8955で示す算出方法で想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
339			
340	・ 地域や条件で、JIS C 8955で示すように各荷重を適切に組合せる必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
341			
342	・ 架台には、20年間の使用を想定した耐久性に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
343			
344	・ 溶融亜鉛めっき、または、それと同等以上のめっきや塗装で防食措置を施していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
345			
346	・ 海岸線に近い場所や煙霧の発生しやすい場所等でない。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
347			
348	・ 環境に応じた対策を計画です。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
349			
350	・ 異種金属接触が生じる計画が無い。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
351			<input type="checkbox"/>
352	・ 塗装等によるメンテナンスが必要な場合、推定メンテナンス期間を提示するこ。(塗装工事は無し)	(済・無)	<input type="checkbox"/>
353			
354			
355	材料の確認		
356			
357	・ 杭 : $\phi 76.3 \times 4.2$	(済・無)	<input type="checkbox"/>
358	・ 柱 : $\phi 76.3 \times 4.3$	(済・無)	<input type="checkbox"/>
359	・ 受梁 : $[-150 \times 3.2 \times 2997]$	(済・無)	<input type="checkbox"/>
360	・ 縦梁 : $[-80 \times 40 \times 2.3 \times 2000]$	(済・無)	<input type="checkbox"/>
361	・ 横梁 : $[-100 \times 50 \times 3.2 \times 6014]$	(済・無)	<input type="checkbox"/>
362			
363	施工段階		
364			
365	・ 「工事安全衛生点検チェックシート」、「施工現場のためのチェックシート」に基づき施工現場の法令遵守と安全に配慮	(済・無)	<input type="checkbox"/>
366	していますか。		
367			
368	・ 契約・仕様・範囲が施工中に変更する場合、協議による。	(協・無)	<input type="checkbox"/>
369			
370	・ 竣工時は、契約時の図面や仕様と相違ないかを確認。	(確・無)	<input type="checkbox"/>

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チエッ ク
371	設計者編		
372	・ 設置にあたっては、地域の風土、地形、過去の自然災害等を調べ評価の確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
373			
374	・ 地上設置型は、発電所内へ人の立入りを制限することが必要とされる場合、柵やフェンス等の設置は有るか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
375			
376			
377	・ 市町村災害担当に相談済みか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
378			
379	・ 農地の場合には特定行政庁(市町村)と協議済みか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
380			<input type="checkbox"/>
381	・ 地上設置型の場合、隣地との境界を明示杭等で確認済みか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
382			
383	・ 適切な基礎を設計するために必要な、地盤状況の事前調査を実施済みか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
384			<input type="checkbox"/>
385	・ 事前調査の結果に応じて、スウェーデン式サウンディング(SWS)試験、または、平板載荷試験相当以上の地盤調査を	(済・無)	<input type="checkbox"/>
386	専門家に 依頼し報告書の確認済みか。		<input type="checkbox"/>
387			<input type="checkbox"/>
388	・ 事前調査や地盤調査で得られた結果を基に、地盤の不同沈下、許容支持力を求め、地盤の安全性を評価し検討して	(済・無)	<input type="checkbox"/>
389	いますか。		
390			
391	・ 基礎形式を適切に定めていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
392			
393	・ 置き基礎の場合には、基礎の滑りや根入れの要否を検討していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
394			
395	・ 杭基礎の場合、鉛直支持力、引抜抵抗力、水平抵抗力を検討していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
396			
397	・ 軟弱地盤や盛土地盤、支持層に達しない摩擦杭や短杭の場合に検討していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
398			
399	・ 杭の各支持力は「建築基礎構造設計指針」または、国土交通省告示第1113号に示された計算方法に基 ぎ検討してい	(済・無)	<input type="checkbox"/>
400	ますか。		
401			
402			
403	・ 直接基礎及び置き基礎の場合、凍結深度より深い位置に底板位置を定めていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
404			
405	・ 杭基礎の場合、凍上の発生に対して配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
406			
407	・ 基礎の沈下・不同沈下量を支障のない範囲内と確認していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
408			
409	・ 基礎の沈下が架台に及ぼす影響に配慮し設計していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
410			
411	・ 基礎に用いる鉄筋コンクリートや鋼材に掛かる応力は許容応力範囲内ですか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
412			
413	・ 地上設置型は基礎の設計に、固定荷重、水圧、土圧、地震荷重、地盤の変状に伴う荷重を想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
414			
415	・ 固定荷重は、上部構造に加え基礎スラブ上を覆う土の荷重も想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
416			
417	・ 水圧は、地下水位を把握し、最高水位から想定していますか。(短杭)	(済・無)	<input type="checkbox"/>
418	・ 浮力も考慮していますか。(杭)	(済・無)	<input type="checkbox"/>
419			
420	・ 地震荷重を基礎に働く水平力として取り扱っていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
421	・ 設計震度やせん断係数によってそれを適切に評価していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
422			
423	・ 地盤の変状に伴う杭の負の摩擦力や不同沈下の影響も考慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チエッ ク
424	・ 積載荷重と積雪、強風、地震による各荷重との組合せにも配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
425			
426			
427	・ 施工アンカーは、一般社団法人日本建築・施工アンカー協会の認定品を有資格者が必要です。(施工が無し)	(済・無)	<input type="checkbox"/>
428			
429			<input type="checkbox"/>
430	・ 基礎部分は、原則メンテナンスできないとの前提で20年以上の耐久性を確保していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
431			
432	・ 基礎部分は、地盤・地質・地下水の水素イオン濃度指数(pH)や迷走電流等による腐食に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
433			
434	・ 鋼管杭を用いる場合、地盤部での腐食を考慮し、それを防ぐ措置を取っていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
435			
436	・ 基礎の洗掘が発生しないよう、また、近隣や水系に十分配慮したうえで排水計画を立てていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
437			
438	架台の設計		
439			
440	・ 高さ4m以下の太陽電池アレイを支持する構造物の設計はJIS C 8955に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
441			
442	・ 架台の構造は、何を基準に基づいて設計されているかを確認下さい。(鋼材の場合は「鋼構造設計規準—許容応力	(済・無)	<input type="checkbox"/>
443	度設計法—(日本建築学会)」等に準じていますか。		<input type="checkbox"/>
444			<input type="checkbox"/>
445	・ アルミ合金の場合は「アルミニウム建築構造設計規準(建築研究所)」等に準じていますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
446			
447			
448	・ 架台材料に鋼板を用いる場合、厚さが2.3mm未満なら、部材の安全性に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
449			
450			
451			
452	・ 架台には、固定荷重、風圧荷重、積雪荷重(60cm)、地震荷重を想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
453			
454	・ 固定荷重は、モジュールや支持物の重量の合計として想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
455			
456	・ 風圧荷重は、モジュールや支持物に加わる風圧力の合計として想定していますか。JIS C 8955では算出方法を示し	(済・無)	<input type="checkbox"/>
457	ていますか。		
458			
459	・ 積雪荷重は、モジュール面の垂直積雪荷重として想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
460			
461	・ JIS C 8955では算出方法を定めていますが、雪の滑り方向、風下の雪だまり、側圧等に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
462			
463			
464	・ 特定行政庁の垂直積雪深に配慮していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
465			
466	・ 地震荷重は、支持物に加わる水平地震力としてJIS C 8955で示す算出方法で想定していますか。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
467			
468	・ 地上設置の場合、JIS C 8955にて記載されていないので、別途の検討が必要です。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
469			
470	・ 地域や条件により、JIS C 8955で示すように各荷重を適切に組合せる必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
471			
472	・ 太陽電池モジュール用架台及び基礎杭の計算書が有るか。(別紙平成27年9月)	(済・無)	<input type="checkbox"/>
473			
474	・ 溶融亜鉛めっき、または、それと同等以上のめっきや塗装で防食措置を施していますか。(溶融亜鉛めっきのみ)	(済・無)	<input type="checkbox"/>

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト			
	審 査 項 目	項 目	チエック	
475	・ 海岸線に近い場所や煙霧の発生しやすい場所等では耐食性が低下する場合がありますが別途の検討が必要です。(海岸地区に該当しない)	(有・無)		<input type="checkbox"/>
476				<input type="checkbox"/>
477	・ 環境に応じた計画か。	(済・無)		<input type="checkbox"/>
478				
479				
480				
481				
482	太陽光発電システム確認			
483				
484				
485				
486	・ 土地：四万十町影野字宮の前1111番地	(済・無)		<input type="checkbox"/>
487				
488	・ 称：265W太陽光は多結晶	(有・無)		<input type="checkbox"/>
489				
490	・ 称：265W太陽光は単結晶	(有・無)		<input type="checkbox"/>
491				
492	・ 社名・型番：太陽電池ジンコソーラー (JKM265pp-60-J)	(済・無)		<input type="checkbox"/>
493				
494	・ 最大出力：265W/枚	(済・無)		<input type="checkbox"/>
495				
496	・ 方位：真南	(済・無)		<input type="checkbox"/>
497				
498	・ 設置角度：10度	(済・無)		<input type="checkbox"/>
499				
500	・ 製品名：SMA社ジルコ	(済・無)		<input type="checkbox"/>
501				
502	・ 最大システム電圧：1000VDC(EC)	(済・無)		<input type="checkbox"/>
503				
504	・ 最大出力動作電流：6.50A	(済・無)		<input type="checkbox"/>
505				
506	・ 太陽電池モジュール20年保証か	(済・無)		<input type="checkbox"/>
507	(発電量は0.5%ずつ低減し20年間で約80%になる)			
508				
509	・ 出力公差：0～+3%	(済・無)		<input type="checkbox"/>
510				
511	・ パワーコンディション：SWA社(ドイツ製)5年保証	(済・無)		<input type="checkbox"/>
512	(5年目からメンテナンス費用が必要)			
513				
514	・ パワーコンディション変換効率最大効率98%	(済・無)		<input type="checkbox"/>
515				
516	・ 多結晶モジュールは認証取得済みか	(済・無)		<input type="checkbox"/>
517				
518	・ 設置枚数：3,500枚。	(済・無)	済	<input type="checkbox"/>
519				
520	・ サイズ：1650×992×40	(済・無)		<input type="checkbox"/>
521				
522	・ 重量：18.5Kg/枚	(済・無)		<input type="checkbox"/>
523				
524	・ キュービクル社名：中立電機㈱	(済・無)		<input type="checkbox"/>
525				
526	・ 10年後に電力量計のに取り換えが必要(保証期間10年)	(済・無)		<input type="checkbox"/>

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト			
	審 査 項 目	項 目	チェ ック	
527	太陽光発電システム			
528				
529	・太陽光発電を検討に当たり、販売店やメーカーに採算が取れるかどうかのシュミレーションを行っている	(有・無)		<input type="checkbox"/>
530	か。			
531				
532				
533	太陽光発電システム参考			
534				
535	・高温多湿の条件下で太陽電池システムを高電圧で使うと、太陽電池モジュール表面のガラスに含まれるナ			<input type="checkbox"/>
536	トリウムがイオン化して悪影響を及ぼすといわれる。			
537				
538	・シリコン系の太陽電池は単結晶シリコン、多結晶シリコンアモルファスなどがあり、高い発電能力があり			<input type="checkbox"/>
539	ます。			
540				
541	・一方化合物系の太陽電池はシリコン系よりも発電能力は一般的に低いのですが、高温や影に影響されにく			<input type="checkbox"/>
542	いという特質があります。			
543				
544	・太陽光発電事業でどちらのタイプの太陽電池がベターなのかは意見が分かれるところで、現在はさまざま			<input type="checkbox"/>
545	な実験や研究が行われています。			
546				
547	・お勧めなのがシリコン系と化合物系の太陽電池の併用です。	(有・無)		<input type="checkbox"/>
548				
549	・シリコン系の太陽電池は高出力なので、同じ発電量を確保するには化合物系の太陽電池よりも小さい面			<input type="checkbox"/>
550	積で済みます。			
551				
552	・同じシリコン系でも単結晶、多結晶、アモルファスなどでは出力と価格の面で差がある。			<input type="checkbox"/>
553				
554	・結論的には中立的に考えると、太陽光発電システムのコストを低めに抑えたいのであれば化合物系太陽電			<input type="checkbox"/>
555	池、高出力を望むのであればシリコン系の太陽電池になります。			
556				
557				
558				
559				
560				
561				
562				
563				
564				
565				
566				
567				
568				
569				
570				
571				
572				
573				
574				
575				
576				
577				
578				
579				
580				

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト						項目	チェック
	審 査 項 目							
581	溶融亜鉛めっきに関する日本工業規格確認							
582								
583	・ JIS H 8641 溶融亜鉛めっき						(有・無)	<input type="checkbox"/>
584	・ JIS H 0401 溶融亜鉛めっき試験方法							
585	・ 種類及び記号							
586								
587	めっきの種類及び記号は表-1 の通りとします。							<input type="checkbox"/>
588	表-1 種類及び記号							<input type="checkbox"/>
589	種 類							
590	種 類	記 号	適 用 例 (参 考)					
591	1 種 A	HD Z A	厚さ5mm以下の鋼材・鋼製品、鋼管類、直径12mm以上の			(有・無)	<input type="checkbox"/>	
592			ボルト・ナット及び厚さ2.3mmを超える座金類。					
593	1 種 B	HD Z B	厚さ5mmを超える鋼材・鋼製品、鋼管類及び鋳鍛造品類。			(確・無)	<input type="checkbox"/>	
594	2 種 35	HD Z 35	厚さ1mm以上2mm以下の鋼材・鋼製品、直径12mm以上の			(確・無)	<input type="checkbox"/>	
595			ボルト・ナット及び厚さ2.3mmを超える座金類。					
596	2 種 40	HD Z 40	厚さ2mmを超え3mm以下の鋼材・鋼製品及び鋳鍛造品類。			(確・無)	<input type="checkbox"/>	
597	2 種 45	HD Z 45	厚さ3mmを超え5mm以下の鋼材・鋼製品及び鋳鍛造品類。			(確・無)	<input type="checkbox"/>	
598	2 種 50	HD Z 50	厚さ5mmを超える鋼材・鋼製品及び鋳鍛造品類。			(確・無)	<input type="checkbox"/>	
599	2 種 55	HD Z 55	過酷な腐食環境下で使用される鋼材・鋼製品及び鋳鍛造品類。			(確・無)	<input type="checkbox"/>	
600								
601								
602	備考 1. HDZ 55 のめっきを要求するものは、素材の厚さ6mm以上であることが望ましい。							<input type="checkbox"/>
603	素材の厚さ6mm未満のものに適用する場合は、事前に受渡当事者間の協定による。							<input type="checkbox"/>
604								
605	2. 表中、適用例の欄で示す厚さ及び直径は、呼称寸法による。							<input type="checkbox"/>
606								
607	3. 過酷な腐食環境は、海塩粒子濃度の高い海岸、凍結防止剤の散布される地域などをいう。							<input type="checkbox"/>
608								
609								
610								
611	めっきの品質は、次による。							
612								
613	①. 外観……めっきの外観は、受渡当事者間の協定による用途に対して使用上支障のある							<input type="checkbox"/>
614	不めっきなどがあってはならない。							<input type="checkbox"/>
615	②. 付着量及び硫酸銅試験回数……めっきの付着量及び硫酸銅試験回数は、表-2 の通りとします。							<input type="checkbox"/>
616	生じないのでなければならない。							<input type="checkbox"/>
617								
618	③. 密着性……めっき皮膜は、素材表面とよく密着し、通常取扱いは、はく離又はき裂を							<input type="checkbox"/>
619	生じないのでなければならない。							<input type="checkbox"/>
620	表-2 付着量及び硫酸銅試験回数							
621	種 類	記 号	硫酸銅試験回数	付着量 g / m ²	平均めっき膜厚 μ m (参 考)			
622	1 種 A	HD Z A	4 回	—	28～42 (推定)	(有・無)	<input type="checkbox"/>	
623	1 種 B	HD Z B	5回	—	35～49 (推定)	(有・無)	<input type="checkbox"/>	
624	2 種 35	HD Z 35	—	350以上	49以上	(確・無)	<input type="checkbox"/>	
625	2 種 40	HD Z 40	—	400以上	56以上	(確・無)	<input type="checkbox"/>	
626	2 種 45	HD Z 45	—	450以上	63以上	(確・無)	<input type="checkbox"/>	
627	2 種 50	HD Z 50	—	500以上	69以上	(確・無)	<input type="checkbox"/>	
628	2 種 55	HD Z 55	—	550以上	76以上	(確・無)	<input type="checkbox"/>	
629								
630								

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト						
	審 査 項 目				項 目		チ ェ ッ ク
631							
632	外観判定基準現地確認						
633							
634	不良項目	内 容	判 定 基 準	手入れ法			
635							
636	不めっき	局部的にめっき層がなく、素材面が露出しているもので、それが小さい場合は、耐蝕上あまり影響はみられない。	原則としてあってはならない。	【5㎢以下】	(有・無)		□
637				高濃度亜鉛末塗料			
638				【5㎢以上】			
639				別途協議し対応を決定する。			
640				手入れの可否は別途協議し決定する。	(有・無)		□
641	やけ	金属亜鉛の光沢がなく、表面が灰色を呈しているもので、著しい場合は暗灰色になる。	ヤケのレベルに関係なく、				
642							
643							
644	たれ	部分的に亜鉛が塊状に付着しているもので、著しい場合は取扱い中に剥離することがある。	塊状または突起状のものは、手入れを行う。軽度の山だれは可とする。	突起をヤスリにて除去。	(有・無)		□
645							
646							
647	かすびき	めっき表面に亜鉛酸化物やフラックスカスの付着したもので、耐蝕上はあまり影響がない。	付着しているものは手入れを行う。	付着物をヤスリにて除去。	(有・無)		□
648							
649			(社内限度見本による。)				
650	ざらつき	微粒子状の凹凸を生じるもので、素材に起因することが多い。	特に目立つ場合は手入れを行う。	表面をヤスリにて除去。	(有・無)		□
651							
652			(社内限度見本による。)				□
653	変色	めっき表面の酸化皮膜に変色を生じているものや白錆びを生じているもの。	薬品等による変色は速やかに、手入れを行う。白錆びは別途打合わせる。	表面の変色は補修剤にて色合わせ。	(有・無)		□
654							
655							
656	ひずみ	素材の内部応力およびめっきによる熱歪みによって変形をきたしたものの。	別途打合わせる。		(有・無)		□
657							
658							
659							
660	* 性能上支障の無い物については、係員の判断により使用可能とする。						
661							
662					(確・無)		□
663	打ち合せ						
664							
665	・ 工程表の管理確認				(確・無)		□
666	・ 投資回収最終シミュレーションの作成確認				(確・無)		□
667	・ 防犯カメラの設置確認(2台設置可不)				(確・無)		□
668	・ 3月末完成監査実施				(確・無)		□
669	・ 完成検査資料製本は4月末完成				(確・無)		□
670	・ パワコンの基礎中間の捨コン施工				(確・無)		□
671	・ かんがい用井戸水の電気配線・エコテン房蟻施設配線6ヶ設置				(確・無)		□
672	・ 配線の結束は紫外線耐用バンド確認				(確・無)		□
673	・ 発電所の施設の説明・パンフレット作成のお願い				(確・無)		□
674	・ 施設周辺の素掘り水路確認				(確・無)		□
675	・ 川沿い入口の盛土施工の確認				(確・無)		□
676							
677							
678							
679							
680							
681							
682							
683							
684							

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チエック
685	日常点検		
686			
687			
688	・シートを敷いてあるだけなので、風や経年劣化による破れ等のメンテナンスが発生する。(畑作)	(有・無)	<input type="checkbox"/>
689			
690			
691	・除草シートと並んで低コストで除草できる。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
692			
693			<input type="checkbox"/>
694	・除草シートを施工するか。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
695			
696			
697	・採算を図る上では、さまざまなメンテナンス費用を考慮してシミュレーションする事が必須となります。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
698			
699	参考資料		
700	・メガソーラーの場合、一般的に年間のメンテナンス費は設備投資費のおおよそ2%～3%と言われています。		<input type="checkbox"/>
701			
702			
703			
704	・数千、数万枚の中で数枚の発電機能がストップしていても、トータルでの発電量にあまり変化が見られず、発見が難しいのがメガソーラーならではの問題なのです。パワコンやシステムの異音等で発見できるものもあれば、発見が難しい症状もあるというのです。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
705			
706			
707			
708		チェックする対象	
709		パワーコンディショナー本体	(有・無) <input type="checkbox"/>
710		太陽光パネルや架台	(有・無) <input type="checkbox"/>
711		外線内線ケーブル、接続箱など	(有・無) <input type="checkbox"/>
712		チェックする項目	
713		汚れや傷はないか	(有・無) <input type="checkbox"/>
714		破損や欠損はないか	(有・無) <input type="checkbox"/>
715		腐食、配線外れはないか	(有・無) <input type="checkbox"/>
716		異音や振動、異臭はないか	(有・無) <input type="checkbox"/>
717		明細書やモニターによる発電状況のチェックなど	(有・無) <input type="checkbox"/>
718			
719			
720			
721			
722			
723			
724			
725	・定期点検の内容としては、「製品点検・運転点検・数値測定」の3つに大きく分かれます。		
726	「製品点検」では太陽電池モジュール・接続箱・パワーコンディショナー・昇圧ユニットが点検されます。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
727	「運転点検」では、パワーコンディショナー・昇圧ユニットの動作確認をしてくれます。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
728	「数値測定」では、太陽電池・電力系統の電圧測定、太陽電池・機器間の絶縁抵抗測定を行います。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
729			
730			
731			
732	※必ずしも「故障しない」「性能が低下しない」という事ではありません。		
733	メガソーラーともなるとメンテナンスが必ず必要です。	(必/否)	<input type="checkbox"/>
734			
735			
736			
737			

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チエック
738	定期点検		
739			
740	・基礎杭に著しいひずみ、損傷、ひび等破損の進行がないかを確認の必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
741			
742	・地上設置の場合は、雑草、水溜り、土砂の流入や流出がないかを確認の必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
743			
744	・凍結深度の影響、積雪による沈降、不等沈降、地際腐食、架台多連結による膨張変形の有無等を確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
745			
746	・地盤沈下による架台の変形や、擁壁、柵、フェンス等の損傷がないかを確認の必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
747			
748	・架台の変形、キズ、汚れ、さび、腐食、破損、屋上・屋根との接合部のさび、変形、脱落がないかを確認。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
749			
750	・塩害地区の場合には、さび、腐食、破損に特に注意する必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
751			
752	・ボルトの緩み、基礎アンカーボルトの緩みがないかを確認の必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
753			
754	・台風、洪水、地震、積雪、雹(ひょう)、雷等が発生した時は、架台や基礎の変形、重要機器の水没や感電の恐れ等がないかを 確認の必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
755			
756			
757	・車両による事故や侵入等によって機器、架台、基礎等が損傷を受けていないかを確認の必要があります。	(済・無)	<input type="checkbox"/>
758			
759			
760			
761	・設置後の定期点検は、専門店で実施するか。	(有・無)	<input type="checkbox"/>
762			
763			
764	・点検に当たっては、JPEA作成の「太陽光発電システム保守点検ガイドライン【10kW 以上の一般用電気工作物】」を	(有・無)	<input type="checkbox"/>
765	確認必要があります。		
766			<input type="checkbox"/>
767	・塩害地区の場合には、さび、腐食、破損に特に注意する必要があります。(塩害地区でない)	(有・無)	<input type="checkbox"/>
768			
769			
770	・以下完成図面5部提出 (施主2部、元請1部、下請1部、高知銀行1部 計5部作成) 製本	(必/否)	<input type="checkbox"/>
771	普通サイズ(縮小版はダメです)添付		
772			
773	・設計図書	(必/否)	<input type="checkbox"/>
774	・現場案内図	(必/否)	<input type="checkbox"/>
775	・配置図	(必/否)	<input type="checkbox"/>
776	・立面図(胴縁割付含む)	(必/否)	<input type="checkbox"/>
777	・断面図	(必/否)	<input type="checkbox"/>
778	・基礎・モジュール架台の規模・概数	(必/否)	<input type="checkbox"/>
779	・太陽光発電設備・カタログ添付	(必/否)	<input type="checkbox"/>
780	・モジュール	(必/否)	<input type="checkbox"/>
781	・パワーコンディショナ	(必/否)	<input type="checkbox"/>
782	・キュービクル	(必/否)	<input type="checkbox"/>
783	・工程表の添付	(必/否)	<input type="checkbox"/>
784	・各関係に太陽光発電(システム)を設置完了後に完成届を提出する。	(必/否)	<input type="checkbox"/>
785	・その他必要な資料	(必/否)	<input type="checkbox"/>
786			
787			
788			
789			

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト		
	審 査 項 目	項 目	チェ ック
790	発電所工事写真		
791			
792			
793			
794			
795			
796			
797			
798			
799			
800			
801			
802			
803			
804			
805			
806			
807			
808			
809			
810			
811			
812			
813			
814			
815			
816			
817			
818			
819			
820			
821			
822			
823			
824			
825			
826			
827			
828			
829			
830			
831			
832			
833			
834			
835			
836			
837			
838			
839			
840			
841			

ID	設計・契約・施工・管理に関するチェックリスト			
	審 査 項 目		項 目	チェ ック
842	参 考			
843				
844	・引き渡し後	「ソーラー・トータルプラン」のご提案		
845				
846				
847	・複数以上の見積り内容を比較・検討し、納得のいく企業と契約。		(必/否)	<input type="checkbox"/>
848				
849	・施主様の契約			
850				
851	・保険金をお支払いする主な損害内容			
852				
853	1. 火災、落雷、破裂、爆発	オプション		<input type="checkbox"/>
854	2. 風災、落雷、雪災	1.その他 不測かつ突発事故		<input type="checkbox"/>
855	3. 騒じょう、集団行動	2.水災		<input type="checkbox"/>
856	4. 給排水施設等からの水漏れ	3.電氣的、機械的事故		<input type="checkbox"/>
857	5. 航空機、車両の衝突または接触	4.その他		<input type="checkbox"/>
858				
859				
860	※太陽光発電システムが長期間しっかり発電するためには、管理・補償体制の充実度が必須事項です。地震や火			
861	災、落雷、風災、雹災等の自然災害に対する補償の他に、電氣的・機械的事故等に対する企業総合保険による補償、			
862	設置物件に対する盗難補償。さらに、システムによる監視や異常をキャッチした際の有事対応、メンテナンス証発行			
863	等、お客様の大切な資産をしっかりと守る充実の補償です。			
864				
865				
866				
867	審査日			
868				
869				
870	施主			
871				
872				
873				
874	請負会社			
875				
876				
877				
878	材料納入会社			
879				
880				
881	「欠陥太陽光発電工事を建てない、建てさせない！」			
882	そんな不安を解消！施主様に代わりに建築工事をチェックします。			
883				
884				
885	作成者	ミライ企画株式会社	代表取締役	田村 滋

2019.02.24 作成